

生産性向上推進体制加算について アンケート調査結果報告書

ケアコラボ株式会社

■ 調査の背景・目的

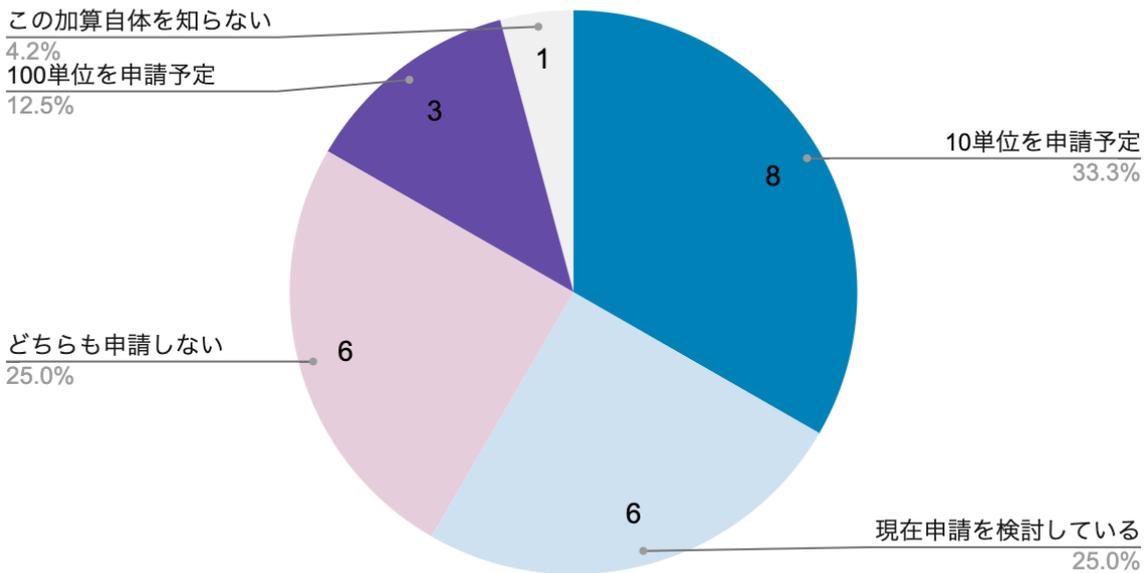
2024年度の介護報酬改定において「生産性向上推進体制加算」が新設されたことを受け、現時点で皆様がこの加算についてのご意見や方向性などをお伺いするため、今回のアンケートを実施いたしました。

このアンケートは、「生産性向上推進体制加算」についての検討状況について、ケアコラボユーザーの皆様に行なったものであり、今後の加算の検討に役立てる情報となることを目的としております。

■ 調査結果

「生産性向上推進体制加算」についての検討状況

生産性向上推進体制加算が2024年の介護報酬改定で新設されました。現時点での方向性を教えてください。

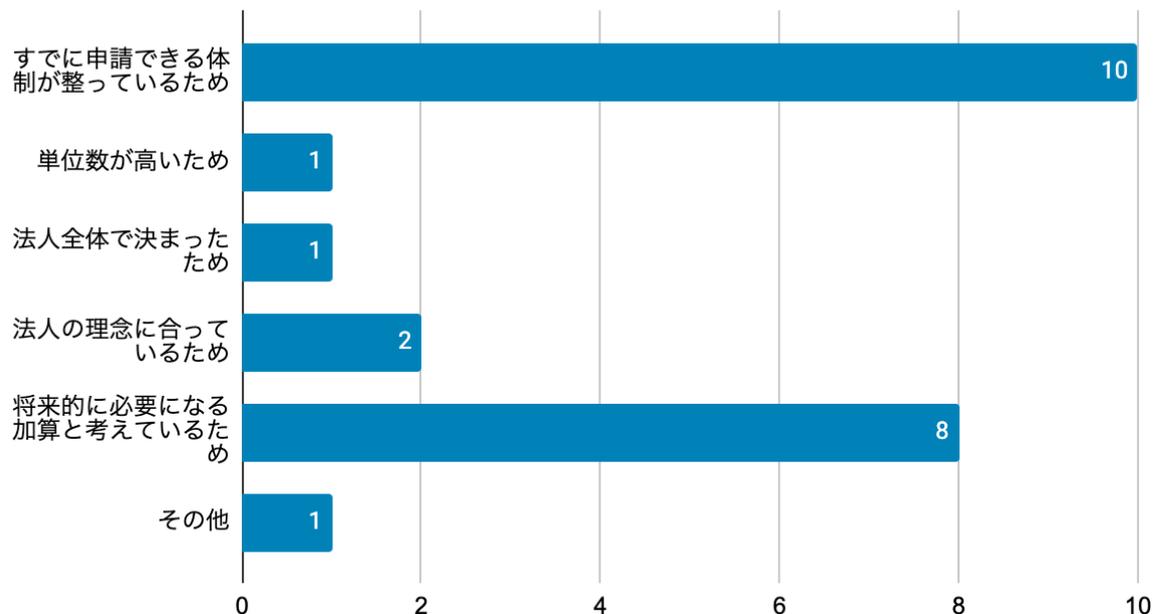


「申請する」及び「申請を検討している」の回答は合計70.8%、「申請しない」の回答は25.0%であり、申請する方向性である割合の方が高いことがわかった。

<「申請をする」「現在申請を検討している」と回答>

1.申請をする理由(複数回答)

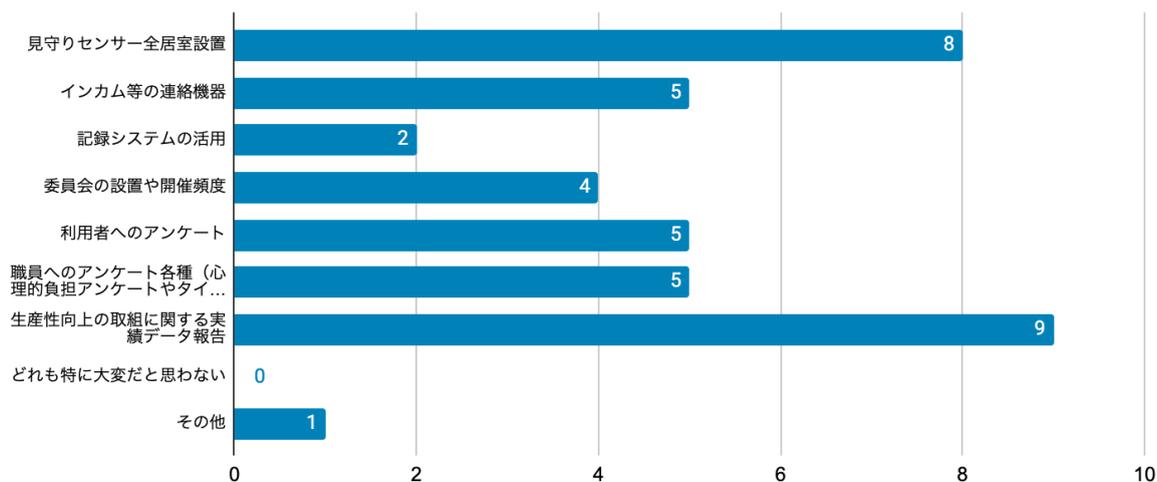
申請する理由は以下のどれにあてはまりますか？(複数選択可)



申請をする理由では、「すでに申請できる体制が整っているため」という回答が最も多かった。また「将来的に必要な加算と考えているため」も次点で多かった。

2.申請をするにあたり整備や情報収集が大変だと感じるもの(複数回答)

以下の中で、申請するにあたり整備や情報収集が大変だと感じるものはありますか？(複数選択可)

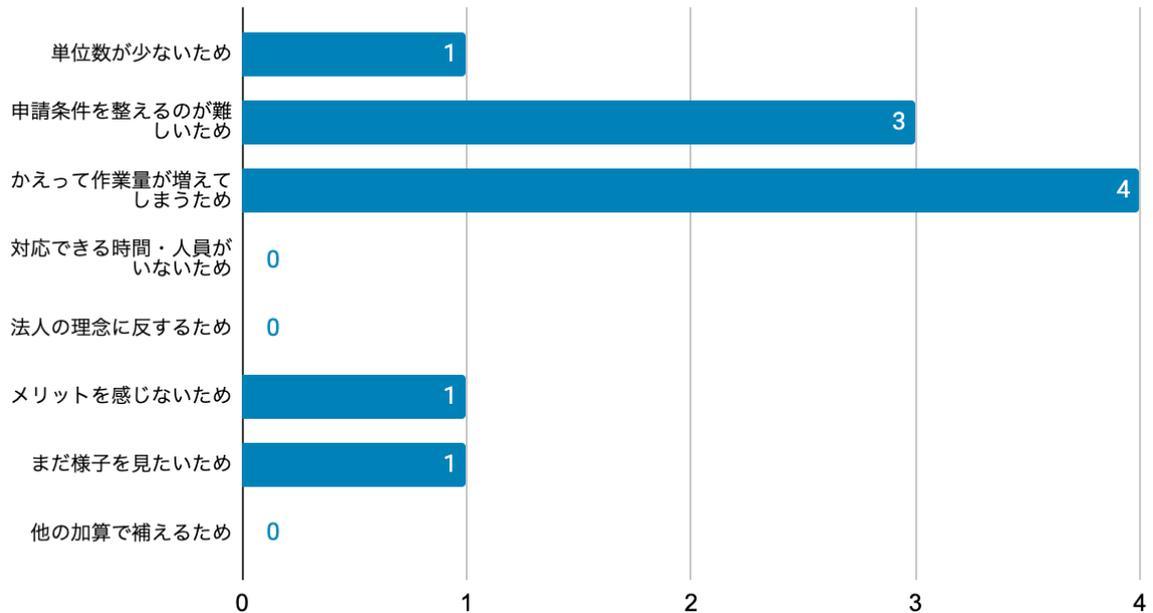


申請をするにあたり、「生産性向上の取組に関する実績データ報告」、次に「見守りセンサー全居室設置」が整備等大変であるという結果となった。

<「申請をしない」と回答>

1.申請をしない理由(複数回答)

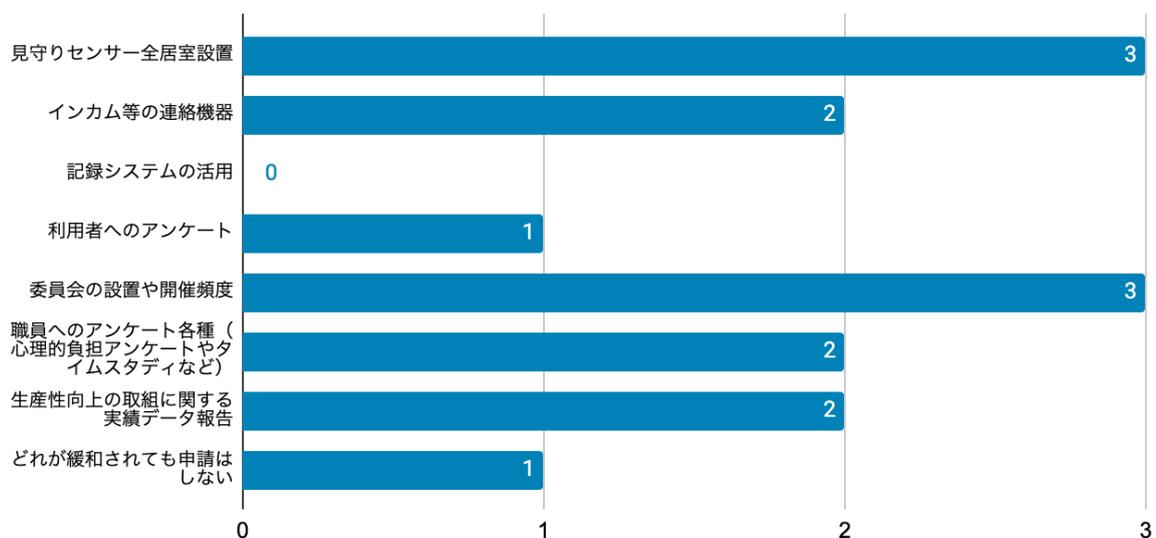
申請しない理由は以下のどれにあてはまりますか？(複数回答)



申請をしない理由として、「かえて作業量が増えてしまうため」が最も多く、次に「申請条件を整えるのが難しいため」という回答が多かった。

2.申請条件のどの部分が緩和されたら申請を検討するか(複数回答)

以下のどの部分が緩和されたら申請をされますか？または申請を検討されますか？(複数回答)



申請条件のうち、どの部分が緩和されたら申請を検討するかについては、「見守りセンサー全居室設置」「委員会の設置や開催頻度」が多かった。

<全回答者共通>

・生産性向上推進体制加算について、「考えていること」「感じたこと」(自由記載)

【「申請をする」・「申請を検討している」の回答者】
ICT機器を導入すれば消耗品として交換等も発生してくる。そういうものに対する加算ではなく報酬の上乗せ、加算であれば要件の緩和をして欲しい。 <u>維持、継続していくことを考えて欲しい。</u>
既に導入しているものが多いが、 <u>インカムなど必要性がないものを導入しないととれないという</u> のはいかがなものかと思う
100の加算を取りたいです。100単位も大きいですが、 <u>センサー類にかかる費用も大きいので投資を回収するには長い期間がかかります。</u> それでも労働環境を改善するには取り入れたいです。
少しでもICTの足しになればとは思いますが加算の点数が低くやることと割に合わないことが多い。大規模施設でもない限り、入所施設以外では100単位の算定は難しいように思う。
生産性向上の取組に関する実績データ報告はそもそもどこにするのか
算定のための条件クリアが <u>やはりハードル高い</u>
生産性向上推進体制加算については承知しているが、 <u>具体的に必要な条件(取り組み)が正直、良く分からない点が多い。</u>
現在のデータ提出用の報告様式や特に利用者・職員に対する調査票について、 <u>あまり実際の意見が反映されにくい質問形式になっているように感じられる。</u> かといって代替となる質問表も難しいと感じるので、現状としてはこれを用いなければならないかとも感じる。
(Ⅰ)と(Ⅱ)の差が激しいですが (Ⅱ)はケアラボだけで申請して既に6月から算定可能になりました

・生産性向上推進体制加算について、「考えていること」「感じたこと」(自由記載)

【「申請しない」の回答者】

タイムスタディー調査など、手間の割には加算単位が低い為、当法人で算定予定はありません。

人員不足が危惧されている中でこのように全居室へのセンサー機器などの設置とすることでも対応できるようにしていく方針は理解できますが、不必要な方へ機器を設置したところで意味がなかったり、センサーに頼りきりになってしまうことも想定されると思います。

インフラの整備にも経費はかかると思いますし、加算算定における見返りを考えた時に割合に合わないと考える法人もあるのではと感じます。

この加算にかかわらず、加算を取るための作業が負担。加算を増やすのではなく基本報酬を上げるべきだと考える。生産性をあげる目的はマンパワーの補助的機能だと感じるが、その「人」がやり甲斐を感じたり、楽しんで仕事ができるようにしていかないと担い手は減る一方。こんな加算を取るための作業時間にやりたい事がたくさんある。ましてや、加算の単位数の少ない事がやりたくない気持ちに拍車をかけている。

生産性向上ガイドライン等の具体的な対策が分からない

■ 調査実施概要

1.対象者

ケアコラボユーザーのうち、介護分野でサービス提供を行なっている方
かつ、生産性向上推進体制加算の検討に関わっている方

2.調査実施者

ケアコラボ株式会社

3.調査方法

Googleフォームを用いたインターネットリサーチ

4.調査実施期間

令和6年6月6日～令和6年6月28日

5.調査結果回収状況

回答数:26件 うち有効回答数:24件 有効回答率:92.3%

6.回答者の主要提供サービス

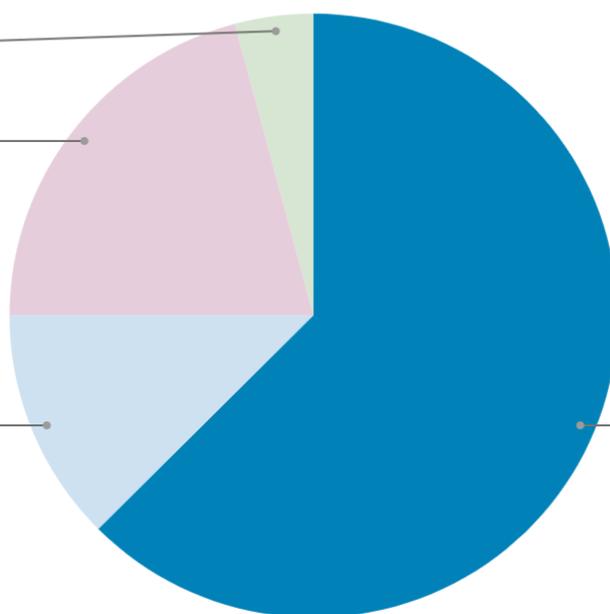
主要な提供サービス

短期入所系サービス
4.2%

多機能系サービス
20.8%

居住系サービス
12.5%

施設系サービス
62.5%



ケアコラボでは、このようなアンケート調査をこれからも引き続き行っていきます。
今回お忙しい中ご協力いただいた皆様、ありがとうございました。